

研究課題名	当院における消化器内視鏡に関する疾患、治療、手技アウトカムの観察研究
研究対象期間	2019年7月～2024年6月
研究の対象	当院において消化器内視鏡検査・治療を受けられた全ての方
研究目的	<p>本研究は、当院の内視鏡関連手技・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者により質の高い医療を提供することを目指す研究である。本研究では以下のことを明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内視鏡関連手技を行なっている施設診療科の特徴 ●医療水準の評価 ●適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置 ●早期癌登録に対する精確な情報収集 ●内視鏡検査、治療を受けた方の予後 ●内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集 ●これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など日本消化器内視鏡学会主導で同様の内容についての全国的なデータベース作成研究に参加する予定だが、さらに自院の情報を独自で解析し自院の特徴や課題を明らかにすることで効果的に改善に取り組むことが可能である。
研究に用いる診療情報等の種類	<p>消化器内視鏡検査・治療所見とともに下記の共通項目を取得する。</p> <p>【上部消化管内視鏡関連の共通項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●患者基本情報 検査日、年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止・置換の有無） 喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍の有無、家族歴、他臓器 ●癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態 ●依頼情報 予定性、外来・入院、検査目的、治療目的 ●薬剤 鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻酔に関する事項 ●挿入経路 ●使用スコープ情報 ●送気の種類 ●特殊観察法 ●観察範囲 ●手技開始・終了時間 ●手技中偶発症 ●手技後偶発症

	<ul style="list-style-type: none"> ● 30 日以内の死亡の有無 ● 実施医師名（医籍番号）* ● 副実施医師名（医籍番号）* ● 内視鏡看護師・技師名** <p>* 内視鏡実施医、副実施医の姓名、医籍番号の取得にあたっては本研究の分担医師 （本研究実施者）として登録の可否を本人に確認する</p> <p>** 内視鏡看護師、技師に関しても同様に、姓名を取得にあたっては本人の同意を必須</p> <p>とし、許可が得られない場合は、検査に関与した人数のみを登録する</p> <p>【下部消化管内視鏡検査関連共通項目】 上部消化管内視鏡検査関連共通項目に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 腹部手術歴 ● 生涯大腸内視鏡歴 <p>【ERCP 関連手技検査共通項目】 上部消化管内視鏡関連共通項目に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 造影範囲 ● 挿管 ● 胆管・膵管径 ● 挿管難易度 ● 胆管へのアプローチ方法 <p>上記に加えて内視鏡検査前後の血液検査データ、CT・MRI・US などの画像所見、内視鏡検査前後の治療経過・サマリを適宜カルテより転記する。</p>
研究手法	<p>当院で内視鏡検査を行なった患者に対してはファイリングシステム上で上述の検査項目を取得可能なシステムを導入し、検査施行時に必要な項目を入力する。その後、連結可能匿名化を行なった後に当科で作成したデータベースに必要項目を加えて登録する。</p>
利用の範囲	学会発表、論文発表
研究責任者	公立西知多総合病院 消化器内科 部長 竹山友章